セルロースナノファイバーの環境政策における位置づけ

セルロースナノファイバー（CNF）とは

- 森林資源、農業廃棄物を原料とする高機能材料である（鋼鉄の５分の１の軽さで５倍以上の強度）。
- 植物由来のカーボンニュートラルな材料である。
- 2000年代半ばから先進国を中心に研究開発や標準化（ISO）の議論が進められている。
- 素材として実用段階に入り、用途開発の取り組みが進められている。

環境政策における位置づけ

- 自動車部材、発電機、家電製品等の軽量化により燃費・効率が改善

→　地球温暖化対策への多大なる貢献が期待できる。

- 普及した場合、リサイクル時（自動車・家電等）の技術的課題の検討が必要。
- 森林資源の活用による循環型社会の実現への貢献が期待できる。

（図：ナノセルロースフォーラム）